

中村設計新聞

第二十八号

四月二十一日(土)晴れ
 今月は縦横ハマスずつに区切られた正方形の盤と六種類の動き方が異なる駒を使う「チェス」を行いました。

○はじめに

今月の研修は国際オリンピック委員会承認のスポーツであるチェスを所内で行いました。

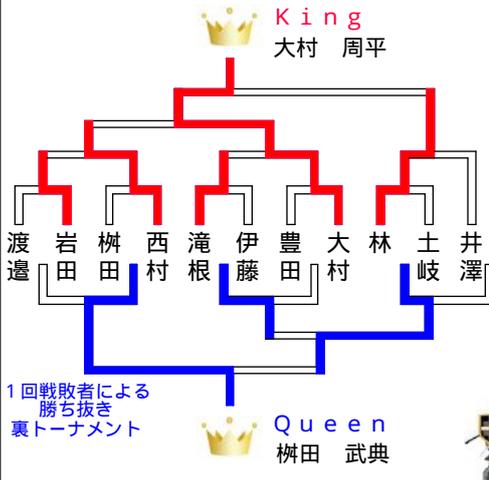


チェスは全世界百五十ヶ国以上で楽しまれています。歴史も非常に古く、ゲーム全般を通じて最も多くプレイされているものです。

今回は中村設計頭脳オリンピックと称し、トーナメント方式で試合をしました。

○基本ルール

将棋の様に敵の駒を取った場合、再度、自分の駒として使う事はできない。相手のキングをとれる時には「チェック」と声を掛け、そのキングを詰めた時は「チェックメイト」と声を発する。



レポート

『中村設計頭脳オリンピック 優勝者コメント』

チェスは、人それぞれ駒の動かし方が随分違っていて、性格がよく反映されるゲームだと感じました。また、様々なことを想定し、駒を進めていくプロセスは建築の設計にも通ずるものがあるのではないかと感じました。

試合は時間制限付きで、チェックメイトになるまでに勝敗がついてしまうことが多く、だんだんと勝ち進んでしまい、気がつけば優勝！
 試用期間中の身としては、動揺を隠しきれずに挙動不審になりましたが一日を通して良い経験になったと思います。

レポート 大村 周平



見る方も息を詰めて観戦

静寂ながらも白熱な勝負風景！！

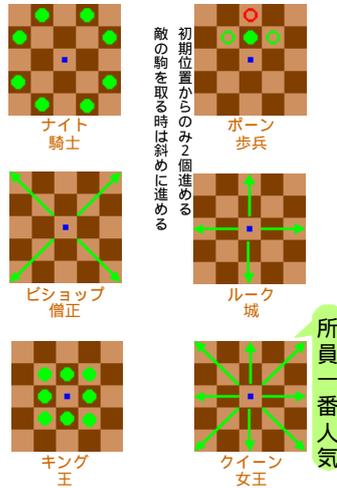
土曜研修初参加で優勝

○まとめ

ほとんどの所員はチェスを初体験でしたが、皆がチェスに興味を持ち知識を深めることができたとの事でした。チェスは先の事を考えて進めていく事が大切ですが、同様に設計においても先を見据える事はとても大切な事だと思いました。

○チェスの駒の動き

将棋に似ているようで異なる駒の動きを紹介します。皆さんも是非、挑戦してみてください。



○チェスクイズ！！

あなた達にチェスについての問題を出すので、お答え下さるかしら。

問題

チェスの一般的な先攻・後攻の決め方はどれでしょう？

- 一・一方の人が白と黒の駒を両手に一つずつ持つてもう一方の人が相手の手の内を読んで決める。
- 二・格下の人が先攻
- 三・コイントス



○ゴーヤカーテン

まだ五月とは思えない程、夏らしい日差しになってきた今日この頃。今年もゴーヤカーテンの季節がやってきました。夏の日差しを遮るため、事務所の西面にゴーヤカーテンを試み始めてから早四年。窓一面に葉が茂ってくれることを祈りつつ、今年の夏も省エネに励みたいと思います！

○観察日記

今年も一階・二階にそれぞれプランターを設置しました。晴天が続いたおかげで早くもすくすくと成長中です。ゴーヤカーテンに加え、実ったゴーヤを頂くのもゴーヤカーテンの楽しみの一つです。立派なゴーヤに成長してくれるのか。この夏も日々の成長の様子をお届けします。

